

2012年度 大学英語教育学会 (JACET) 関西支部春季大会

JACET Kansai Chapter 2012 Spring Conference

大会テーマ：「原点に立ち返って考える大学英語教育：未来への新たな一歩」

Back to the Basics of University English Education: First Steps toward a Better Future

発表要旨一覧

招待講演 Plenary Lecture 11:15-12:30 CALL第1教室: 3F

原点に立ち返って考える英語教育

Back to the Basics of University English Education

講師: 神保 尚武 JIMBO, Hisatake (JACET会長/早稲田大学 President of JACET / Waseda University)

.....
21世紀の言語教育に多大な影響を及ぼしているのがCEFRである。CEFRは複言語主義をかかげ、広範なコミュニケーション能力の形成を目指している。この理念は日本の外国語教育政策にも参考になる。新学習指導要領が実施され始めた中で大学英語教育はどうすべきか。大学英語教育の柱は、教養科目としてのリベラルアーツと専門基礎科目としてのESPではないか。
.....

研究発表1 Research Paper 1 13:30-14:00 CALL 第2教室: 4F

自己表現活動における協同学習の有効性—英語を苦手とする学生を対象として—

The Validity of Cooperative Learning in Speech Training for Low Proficiency University Students

牧野 眞貴 MAKINO, Masaki (近畿大学 Kinki University)

.....
本研究の目的は、英語を苦手とする大学生を対象とした自己表現活動における協同学習の有効性を検証することである。大学のリメディアル教育対象クラスにおいて、グループに分かれてスピーチのトレーニングを行った結果、学生の自己表現力が有意に伸びたことが確認された。さらに、仲間からのフィードバックや、意見交換がスピーチの技術を身につけるのに効果的であり、協同学習が学生の授業参加意欲を高めたということが示唆された。
.....

研究発表2 Research Paper 2 14:05-14:35 CALL 第2教室: 4F

日本の大学と英語圏の大学を結びつける英語教育：海外ESLプログラム研究

English Language Education between Japanese and English-Speaking Universities: Research on Overseas ESL Programs

飯田 毅 IIDA, Tsuyoshi (同志社女子大学 Doshisha Women's College of Liberal Arts)

佐伯 林規江 SAEKI, Namie (同志社女子大学 Doshisha Women's College of Liberal Arts)

.....
本研究は留学の形態によって英語力がどのように変化するかを明らかにすることを目的とする。留学を義務化している学科の学生92名を対象として、留学形態を「正規科目留学」、「ESL科目と正規科目同時受講」、「ESL受講後正規科目受講」、「ESLだけ受講」の4種類に分け、留学前後に実施したTOEICの結果を基に質問紙とインタビューを通して調査した結果、留学前の英語力、動機、学習量、beliefが英語力の変化に関係していることが示唆される。
.....

研究発表 3 Research Paper 3 14:40-15:10 CALL 第 2 教室: 4F

学習者の動機づけを高める教材開発研究

Materials Development for Motivating EFL Learners

幸重 美津子 YUKISHIGE, Mitsuko (京都外国語大学京都外国語専門学校 Kyoto

Career College of Foreign Languages)

仲川 浩世 NAKAGAWA, Hiroyo (関西外国語大学短期大学部 Kansai Gaidai College)

.....
発表者が実施した意識調査によると、大学生の英語学習に対する興味は、必ずしも自主的な学習への動機づけとはなっていない。その一因として考えられるのは、教材や教授法に動機づけを促す工夫や配慮が十分なされていない可能性である。本研究では、学習者の内発的・外発的動機づけに結びつけるため、「理解できるという期待」や学習のための「誘因・手段」を配置した開発教材案を提示し、その学習方法について考察する。
.....

研究発表 4 Research Paper 4 13:30-14:00 CALL 第 3 教室: 4F

異なる母語 (英語、日本語、中国語) 話者による比喩的表現の解釈

Figurative/metaphorical Interpretations Performed by Different Native-language Groups (English, Japanese and Chinese)

東 眞須美 AZUMA, Masumi (神戸芸術工科大学名誉教授 Professor Emeritus,

Kobe Design University)

.....
This presentation describes an investigation into cognitive aspects of figurative/metaphorical interpretations performed by three different native language (NL) groups: 100 English, 113 Japanese and 96 Chinese NSs, using the author-designed metaphor cognition tests. The tests examined similarities/differences stimulated by the features of the test items, such as concept sharing, stimulus of the items on image schemas and the relationships of Source-Target domains. It aims to investigate what kinds of figurative/metaphorical expressions are safe and risky to use among different language users.

The following are the results: the characteristics of the expressions successfully interpreted are (i) the figurativeness/metaphoricity which shares universal concepts among the different languages, (ii) the expressions of clear mental images and (iii) the easy mappings or transparent associations between the Source-Target domains of the expressions.

Unsuccessfully interpreted are culture-bound expressions, especially the expressions originated in non-NLs. It was also found in the case of EFL students that the linguistic ability involved the success rate of interpretations. Hence, the presentation will highlight in what kinds of expressions the knowledge of mother tongues is beneficial or ambivalent and suggest a way of alleviating or avoiding miscommunication.

References

Carter, R. (1998). *Vocabulary*. London: Routledge.

Lakoff, G. and Johnson, M. (1980; 2003). *Metaphors We Live By*. Chicago: The University of Chicago Press.

Low, G. and Littlemore, J. (2006). *Figurative Thinking and Foreign Language Learning*. NY: Palgrave.

McCarthy, M. (2001). *Vocabulary*. Oxford: Oxford University Press.
.....

研究発表 5 Research Paper 5 14:05-14:35 CALL 第 3 教室: 4F

EGPライティングからESPライティングへ

ESP Writing: Moving Forward from EGP Writing

仁科 恭徳 NISHINA, Yasunori (明治学院大学 Meiji Gakuin University)

.....
本発表では、EGP ライティングと ESP ライティングにおけるコーパスの有用性を自身や他の研究も交えて紹介する。特に、EGP ライティングにおいては語や句、センテンスレベルで自作英語を精査して行く必要性を指摘し、ESP ライティングにおいてはディスコースレベルの知識がかなり必須になってくることを具体

的な例やデータと共に提示する。最後に、最近注目されている ESP コーパスの一種である Michigan Corpus of Upper-Level Student Papers を紹介し、このコーパスの有用性を探って行きたい。

.....
実践報告 1 Report on Classroom Activities 1 14:40-15:10 CALL 第 3 教室: 4F

映画『いまを生きる』のノベライズ原書を用いたリーディング授業

A Reading Class Using the Novelization of the Movie, *Dead Poets Society*

藤岡 千伊奈 FUJIOKA, Cheena (流通科学大学 University of Marketing and Distribution Sciences)

.....
本発表は、アメリカ映画『いまを生きる』のノベライズ版の原書を用いたリーディング授業の実践報告である。2010 年度、通年で私立大学の二年生を対象に実施した。コンテンツ・ベースのリーディング授業で、主に学習者の内容理解、批判的思考力、及び共感の向上を目指した。発表では、一年を通しての授業の進め方、様々なタスクを用いた課題と学生の作品例、及び授業後に実施した授業に関するアンケートとその結果も提示する。

.....
企画ワークショップ Invited Workshop 15:30-17:00 CALL 第 2 教室: 4F

ESP/EAPに向けた大学における文法教育の再考－「意味順」を活用して－

Imijun: A Reconsideration of the Teaching of English Grammar from ESP/EAP Perspectives

田地野 彰 TAJINO, Akira (京都大学 Kyoto University)

金丸 敏幸 KANAMARU, Toshiyuki (京都大学 Kyoto University)

.....
本ワークショップでは、田地野が提唱している「意味順」指導法を取り上げ、大学での英語教育における文法教育の導入の意義について議論する。ESP や EAP では、特定のディスコースコミュニティにおけるコミュニケーション能力の育成が求められているが、特に基礎的な英語力が不十分な学生に対し、コミュニケーション能力の育成に繋がる「使用のための文法教育」をどのように行っていくべきかについて、参加者との議論の中で深めて行きたい。

.....
ワークショップ Workshop 15:30-17:00 CALL 第 3 教室: 4F

大学英語教員の授業力向上を目指す授業観察シートおよび授業改善のための手引書の考察

A Study of Peer Review Sheets and Tips for Developing Teaching Skills of University English Teachers

村上 裕美 MURAKAMI, Hiromi (関西外国語大学短期大学部 Kansai Gaidai College)

東郷 多津 TOGO, Tazu (京都ノートルダム女子大学 Kyoto Notre Dame University)

笹井 悦子 SASAI, Etsuko (桃山学院大学・非常勤講師 St. Andrew's University)

.....
本ワークショップでは、大学英語教師の授業力向上を目的として開発した、英語の授業目的別授業観察シートおよび授業改善の手引を紹介し、試用から明らかになった効果を報告する。開発したシートは、4 スキル別とベーシック版の合計 5 種類である。これらのシートを使用することで、参観者と授業者の両者が、共に授業力を向上させることができる。シートの有効性について参加者から助言や指摘を得てさらなる充実を図りたい。